



外国人技能実習制度の“今”を伝える

# iBridge

アイブリッジ通信



実習生入社式の様子

## NEWS

アイブリッジ協同組合では、現在拡大する新型コロナウイルス感染症への対策として、「事前に実習生・職員全員のPCR検査」を実施し、「陰性」の場合にのみ配属・訪問することを徹底しています。受入れ先の皆さまに安心していただけるよう、細心の注意と最善の努力を続けて参ります。

新型コロナウイルスの影響により各国の入出国制限が継続するなか、当組合の関係では、対象国・地域との間での双方向の往来を可能にするスキーム（いわゆるレジデントラック）により、昨年9月から今年1月までに、介護職を中心にミャンマーおよびベトナムから66名の実習生が入国しました。しかしながらこのスキームも、緊急事態宣言の解除が発せられるまでの間停止すると日本政府の決定により、実習生の入国も現在一時的に停止されています。

ミャンマーでは突然の政変（クーデター）もあり、実習生を受け入れている施設様、お待ちになっている施設様には、ご心配、ご不便をおかけしますが、新たな情報等は随時お知らせします。

## ミャンマーの政変について

アイブリッジ協同組合では、ミャンマーの情勢について、複数の現地ソースから随時情報を収集しています。ミャンマーでは、以前より政情不安の兆候はありましたが、実際にこのような事態に発展することは予想外でした。

現地では、CDM(不服従運動)によるデモが連日行われており、夜間のインターネットの遮断など予断を許さない状況が続いていますが、新たな情報は随時お知らせします。

### 新軍事政権について

今回のクーデターは、周到に準備をされていたもので、新閣僚は前政権での閣僚経験者や政権幹部も多く、行政能力はむしろ前任者に勝るといえる評価もあるようです。国民の反発と国際社会からの非難を見ながら、「経済の安定・強化」「地域紛争の解決」「新型コロナ対策」を目標として、現実的な政策運営を行っていきと見られています。

民主主義の後退とは言えますが、自己の権益確保に走る前NLD政権に我慢できなくなったとの見方も一部にあり、国軍の支援者も一定数存在する様です。また、新政権が親中国に走らないように、米国なども過度な経済制裁は加えにくいとの見方が多いようです。



### 技能実習制度への影響について

ミャンマーでは、日本を含む海外への人材送出しは軍政時代から行われており、行政機関の運営も以前と変更はありません。また、日本政府側も二国間協定を進めてきた中で、自ら中止する可能性は低いため、技能実習制度自体への影響はないと考えられます。



### 技能実習生への影響について

日本にいる実習生への直接的な影響(強制帰国命令など)もほとんどないとみています。当初は実習生たちに混乱も見られましたが、電話やSNSを通じて母国の家族と連絡も取れているようであり、現在は落ち着きを取り戻しています。当組合からも、SNSなどを通じて、安心して冷静に行動するよう、デモなどへの参加などは極力控えるよう周知しています。

なお、実習生の新規募集は、現地送出国機関で従来通り対応が可能です。新型コロナウイルスの影響による入出国制限により、今のところ現地での面接は難しい状況ですが、リモートでの面接などは随時実施可能ですので、ご検討ください。

## アイブリッジ協同組合研修センターの様子



緊急事態宣言が継続するなか、静岡県伊東市で運営している当組合の研修センターでは、実習先と実習生のオンライン面談が多数行われています。実習生は緊張気味ですが、各々聞きたいことを準備して面談に臨んでいます。中には面白い質問も飛び交います。「家で野菜を育ててもいいですか?」「仏像を置く場所がありますか?」（仏教徒のマンマー人には死活問題の様です）などなど。

実習生たちは、ビデオが切れた途端「緊張しましたあ・・・」とため息をつきますが、実習先の皆様が温かく丁寧に返答してくださっており、終始和やかに面談が行われています。



当組合の研修センターも、一時は年末から年始にかけて入国した40名を超える実習生たちでにぎわっていましたが、配属が進むにつれて落ち着きを取り戻してきました。



アイブリッジ協同組合研修センターでは、実際の講習現場の見学や、リモートでの実習生との面談などを行っています。ご要望がございましたら、お気軽に組合へご連絡ください。

研修センターの様子は [Facebook <アイブリッジ協同組合研修センター>](#)でも紹介しています。

## 実習生紹介：Khin Thida Hmuさん

キン ティダ ムー 国籍：ミャンマー 年齢：35歳  
鹿児島県・老人保健施設配属（2020年2月入国）

私は日本へ去年の2月に来ました。それからちょうど一年経ちました。

日本人は真面目で時間とルールをしっかり守るのがすごいと思います。また、文化、習慣やマナーは母国と違うところが多いです。（例えば、宗教、挨拶、交通機関、ゴミ出しなど、）

入職したばかりの時は、言葉やマナーについてとても心配しましたが、指導員さんたちからやさしい日本語で親切に教えてもらいましたので、早く慣れることができました。



「バガン」の夕日

休みの日、私はよくミャンマーの料理を作ります。先輩たちにも、ミャンマーの料理をプレゼントしたことがあります。先輩たちは「お茶の葉のサラダ」を食べて夜眠れなかったそうです（笑）。みなさんがミャンマーの食べ物に興味をもっているようで、とてもうれしかったです。

機会があれば、ミャンマーへ遊びに来ていただきたいです。おすすめは、広大な原野に3000もの仏塔や寺院が林立している「バガン」です。

## 受入れ施設紹介：株式会社愛誠会 はなまるホーム馬淵

### インタビュー：施設長 浦田佳様



施設長 浦田佳様

「はなまるホーム馬淵」は静岡市駿河区の閑静な住宅街にある定員18名の高齢者グループホームです。“利用者様のあるがままを受け止め、見守り、ケアする”という理念の下、2005年3月より運営を行っています。

実習生は2019年10月に入職し、現在約1年半が経過しました。評価試験にも無事合格し、現在は夜勤もこなしています。

### 実習生の最初の印象はいかがでしたか？

明るい！そして声掛けに優しさ、温かさを感じました。利用者様をすんなりと受け止め、自ら積極的に話しかける姿勢に驚きました。仕事を教える上で苦労した点は殆どありませんでしたが、受入れ当初は何でも「はい、わかりました」と答えるので、理解度の把握に苦労しましたが、何が理解できたのかを復唱させることで理解度を深めさせるようにしました。

### 夜勤をする上で気を付けていることはありますか？

実習生本人が緊急時の対応に不安を感じていたの、状況に応じた連絡体制と連絡手段を徹底して指導しました。実際に低血圧で利用者様の対応を迫られた際も、慌てず的確に連絡を取る事で素晴らしい対応が出来ました。

### 調理の業務はいかがでしょう？

最初は日本特有の食材や味付けに戸惑いもあり、本人も「料理は苦手」と申しましたが、分量をキッチリ計量して作るの、いまは問題ないですね。



グループホーム馬淵

### 日本語などの学習はいかがでしょう？

入国前にN3を取得していたので、現在はN2に向けた学習をしています。読解が少し苦手なようですので、専門的に教えてくれる教室があれば通わせたいと考えています。

また、本人が「介護福祉士」を取得し、継続して「はなまるホーム馬淵」で働きたいと考えているようですので、介護福祉士の試験対策も考えています。いずれにしても、N2の取得が先になると思いますが、介護福祉士の実技試験については何の不安もありません。

受入れ前は不安な事ばかり先行して、受入れに対して消極的でしたが、実際に受入れてとても良かったと思います。「はなまるホーム馬淵」は2ユニットなので、もう片方のユニットの職員からも受入れを進めてほしいとの声もあります。

これからも活躍が大いに期待出ると考えています。



iBridge

## アイブリッジ協同組合

所在地：〒104-0061 東京都中央区銀座2-11-8 第22中央ビル9F  
 TEL：03-6228-4196 FAX:03-6228-4896  
 URL：<https://www.ibridge.or.jp>  
 MAIL：info@ibridge.or.jp



2021年2月22日発行